



GOOD
DESIGN
AWARD

INTERNSHIP PROGRAM 2025 REPORT

グッドデザイン賞

インターンシッププログラム 2025 報告書



グッドデザイン賞では、毎年デザインを学ぶ学生の皆さんをサポートスタッフとして受け入れ、審査の過程を通じて、第一線で活躍する審査委員のデザインの評価視点に触れることで、自らのデザインの学びにつなげていくプログラムを実施しています。2025年度は全国42の大学等から、100名が参加しました。

参加校:42校

デジタルハリウッド大学

富山大学

東洋大学

九州大学

崇城大学

桑沢デザイン研究所

京都工芸繊維大学

広島市立大学

桜美林大学

京都精華大学

愛知淑徳大学

横浜国立大学

京都芸術大学

慶應義塾大学

武蔵野美術大学

仁愛女子短期大学

拓殖大学

法政大学

公立はこだて未来大学

日本大学

滋賀県立大学

千葉工業大学

札幌市立大学

神戸芸術工科大学

名古屋工業大学

東京工科大学

福井工業大学

名古屋芸術大学

東京理科大学

秋田公立美術大学

多摩美術大学

東京藝術大学

筑波大学

大分県立芸術文化短期大学

東京造形大学

芝浦工業大学

大阪芸術大学

東京都市大学

長岡造形大学

女子美術大学

東北芸術工科大学

香川大学

Schedule for 2025

4/1-5/22

応募受付期間

サポートスタッフガイダンス [リーダー: 6/22、スタッフ: 8/5]

リーダーは一次審査から、サポートスタッフは二次審査から参加し、審査前には進め方や役割、学びの可能性をレクチャーで共有し、あわせてリーダー向けに審査の視点ワークショップも実施しました。



6/23

一次審査判定会 @東京ミッドタウン [一次審査期間: 6/4-30]

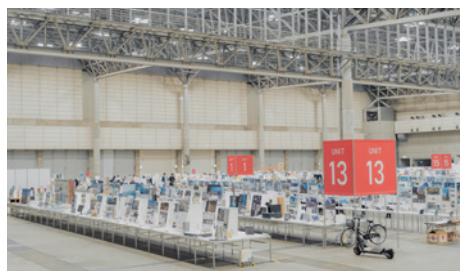
一次審査判定会にリーダーが参加。各審査委員が個別にウェブ審査を行った結果をもとに、一次審査通過対象を決定する過程に立ち会いました。結果と経緯の記録をし、審査委員の評価の視点到触れました。



8/6-8/8

二次審査会 @幕張メッセ [二次審査期間: 7/9-8/25]

全サポートスタッフが参加。審査ユニット別に、二次審査の記録と運営をサポートしました。未発表審査では、応募企業の説明と質疑に立ち会いました。



8/8

グッドデザイン賞ベスト100選考会

9/19

グッドデザイン賞特別賞審査会

10/15

受賞発表
グッドデザイン賞審査委員セレクション
わたしの選んだ一品展 [10/15-11/23]



11/1-11/5

受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2025」



11/4

グッドデザイン賞受賞祝賀会



2026/3

年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2025」発刊



2025年度グッドデザイン賞 結果概要

受賞件数 **1,619**

審査対象数 **5,225**

受賞企業数 **1,142**

審査委員数 **94**

海外からの受賞 **400**

海外審査委員数 **13**

受賞国と地域数 **15**

審査ユニット数 **22**

グッドデザイン大賞 ————— **1**

グッドデザイン金賞 ————— **19**

グッドフォーカス賞 [新ビジネスデザイン] — **3**

グッドフォーカス賞 [技術・伝承デザイン] — **3**

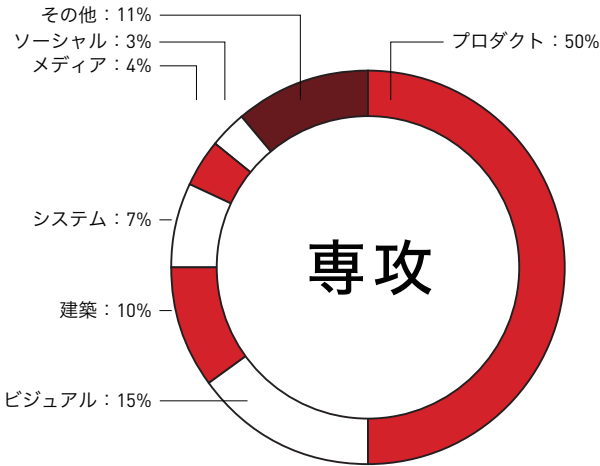
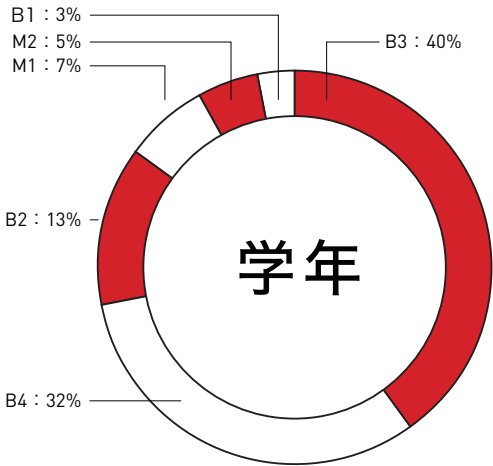
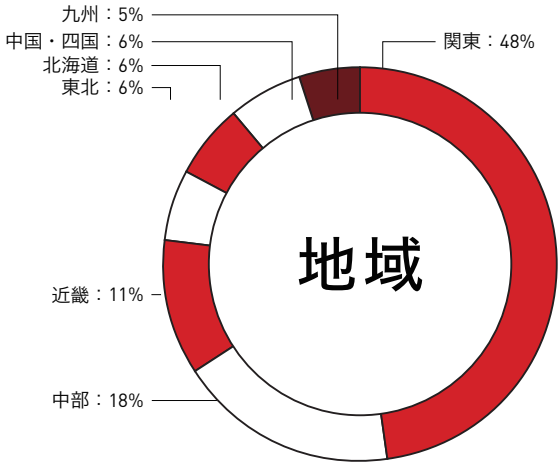
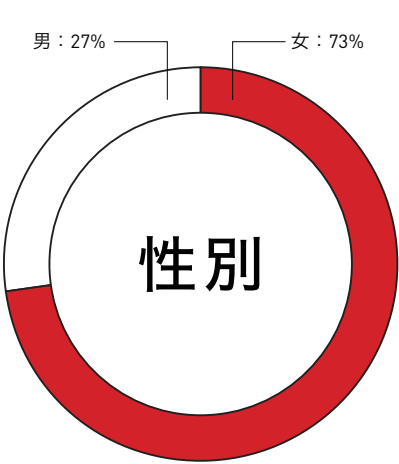
グッドフォーカス賞 [地域社会デザイン] — **3**

グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン] — **3**

Participants List

安久都 樹里	[長岡造形大学]	住田 理沙	[富山大学]
鎧 菜々香	[デジタルハリウッド大学]	ズルカルナイン イッファー	[公立はこだて未来大学]
飯島 美優	[拓殖大学]	関口 祐未	[法政大学]
泉山 祥	[神戸芸術工科大学]	千同 沙英	[広島市立大学]
磯田 未由	[東京造形大学]	平 詩音	[千葉工業大学]
居林 大星	[富山大学]	高田 彩花	[日本大学]
伊與部 利恵	[拓殖大学]	高橋 俊	[日本大学]
入江 祐乃介	[九州大学]	高森 悠斗	[福井工業大学]
岩村 綾音	[京都芸術大学]	田中 誠也	[千葉工業大学]
宇梶 もえ	[女子美術大学]	谷川 杏実	[滋賀県立大学]
海野 玲希	[大分県立芸術文化短期大学]	調子 ちえ	[京都精華大学]
大久保 杏優	[札幌市立大学]	藤社 汐里	[桑沢デザイン研究所]
大越 伊織	[東京都市大学]	長尾 響子	[香川大学]
大杉 昂平	[慶應義塾大学大学院]	中野 優奈	[芝浦工業大学]
大友 このみ	[札幌市立大学]	中道 千尋	[札幌市立大学]
大橋 ニカ	[大阪芸術大学]	中山 華琳	[京都工芸繊維大学]
大橋 未結	[武蔵野美術大学]	成田 ことみ	[愛知淑徳大学]
大山 沙羅	[桜美林大学]	西本 彩乃	[神戸芸術工科大学]
岡村 沙南	[桑沢デザイン研究所]	丹羽 成美	[仁愛女子短期大学]
小澤 七花	[東京造形大学]	野口 菜々子	[仁愛女子短期大学]
小野田 歩実	[香川大学]	橋田 夏希	[東京藝術大学]
折田 桃佳	[武蔵野美術大学]	長谷川 瑛大	[富山大学]
加藤 和奏	[愛知淑徳大学]	ファ ジホ	[多摩美術大学]
加藤 心結	[女子美術大学]	福田 晃平	[桑沢デザイン研究所]
金子 慧花	[東京造形大学]	藤澤 穂香	[秋田公立美術大学]
鹿野 菜々子	[東北芸術工科大学]	藤田 彩恵	[法政大学]
川崎 瑠衣	[香川大学]	藤原 優希	[広島市立大学]
菊池 蒔	[筑波大学]	藤原 陽	[東北芸術工科大学]
北川 知奈	[東北芸術工科大学]	堀 双葉	[法政大学]
木村 聖奈	[崇城大学]	本田 茜里	[東京造形大学]
桑田 葉月	[東北芸術工科大学]	馬上 翔	[拓殖大学]
桑原 未羽	[芝浦工業大学]	松井 日咲	[横浜国立大学]
幸喜 美遥	[武蔵野美術大学]	南川 諒太郎	[長岡造形大学]
上坂 舞愛沙	[滋賀県立大学]	三宅 小雪	[桜美林大学]
越原 桜士朗	[名古屋工業大学]	宮澤 匠	[東洋大学]
五條 優希	[拓殖大学]	村上 慶真	[崇城大学]
齋藤 慧次郎	[法政大学]	村瀬 史佳	[名古屋芸術大学]
齋藤 舞	[大阪芸術大学]	森田 千智	[広島市立大学]
櫻井 美優花	[東京工科大学]	矢口 裕史	[福井工業大学]
佐々木 美冴	[東北芸術工科大学]	矢島 未咲	[東京都市大学]
佐々木 美海	[京都工芸繊維大学]	柳 佳弥	[多摩美術大学]
佐原 愛音	[大分県立芸術文化短期大学]	山田 莉緒	[公立はこだて未来大学]
澤田 萌衣那	[愛知淑徳大学]	山中 将治	[公立はこだて未来大学]
嶋崎 彩実	[日本大学]	山野 晴	[東京工科大学]
島本 若葉	[大阪芸術大学]	山本 遥菜	[名古屋芸術大学]
清水 莉央	[東京都市大学]	Ryoo Jungwan	[名古屋工業大学]
白崎 朋華	[福井工業大学]	吉規 佳穂	[東京造形大学]
進藤 里沙	[筑波大学]	吉田 協祐	[東京都市大学]
鈴木 ふみ佳	[東京都市大学]	米田 琉聖	[福井工業大学]
砂川 響輝	[桜美林大学]	劉 雨萌	[東京理科大学]

Participant Attributes





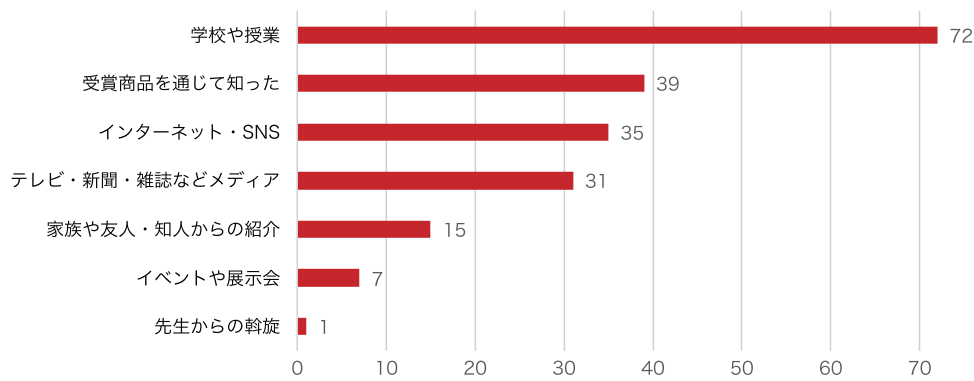


2025 年度グッドデザイン賞インターンシッププログラム参加者の皆さん

Assignment

本インターンシッププログラムに参加する学生のデザインおよびグッドデザイン賞に対する認知度、ならびに参加後の成果を把握するため、事前課題と事後課題を設定しました。学生からの回答をもとに分析を行いました。さらに、事後課題のQ7～9の回答を踏まえ、記事2本を制作し、グッドデザイン賞公式メディア「g Good Design Journal」に掲載しました。

Q. あなたが「グッドデザイン賞」や「G マーク」を知った主なきっかけは何ですか？（最大2つまで選択）



Q. あなたの周囲（家族・友人・知人）は「グッドデザイン賞」や「G マーク」をポジティブに評価していますか？

※「全く評価していない」から「非常に評価している」までの5段階評価

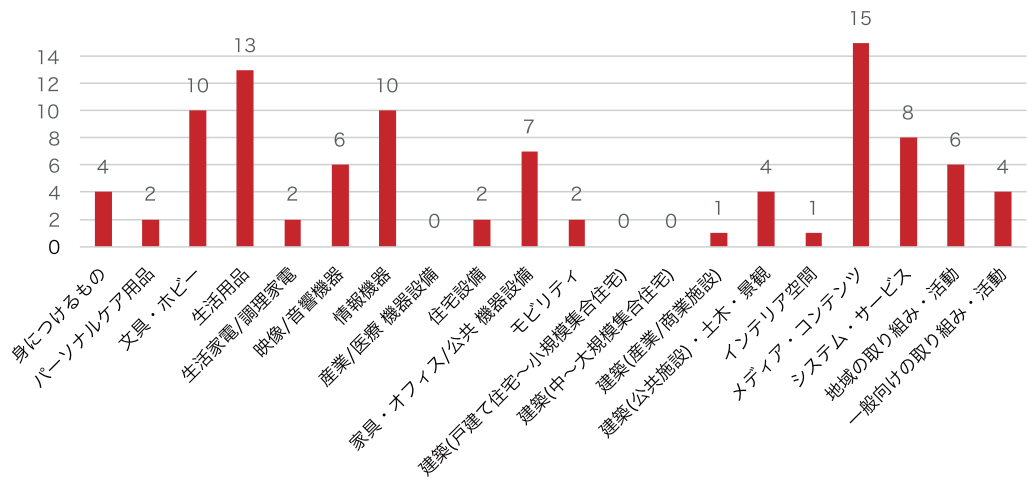
平均	4.110
標準偏差	0.803

Q. あなたが最も関心のあるデザインの分野を具体的に記述してください。

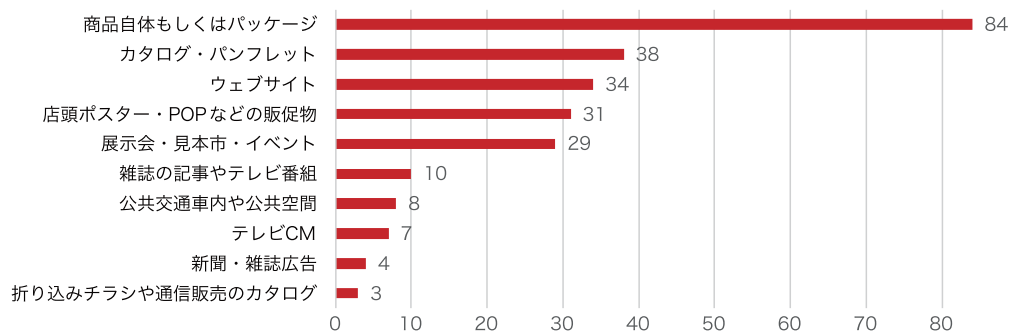
分野	出現回数	分野	出現回数	分野	出現回数
プロダクト	42	ブランディング	4	サーキュラー	1
パッケージ	10	モビリティ	4	インタラクション	1
建築	9	エディトリアル	3	コミュニケーション	1
文房具	7	食器	2	リサーチ	1
UX	7	システム	2	コミュニティ	1
グラフィック	7	キャラクター	2	感性	1
インテリア	5	玩具・ホビー	2	都市	1
ソーシャル	5	ビジュアル	2	XD	1
UI	5	まちづくり	1	木材	1
空間	4	人間工学	1	ディスプレイ	1
メディア	4	照明	1	エシカル	1
広告	4	サステナブル	1		

Q. あなたが「グッドデザイン」だと感じるモノコトを1つ具体的に挙げ、その理由を簡単に記述してください。

※回答をグッドデザイン賞応募カテゴリーに分類して集計



Q. あなたは「G マーク」をどのような機会で見かけますか？（複数選択可）



Q. 製品やサービスを選ぶ際、「グッドデザイン賞」の受賞はどの程度重要ですか？

※「全く重要でない」から「非常に重要」までの5段階評価

	事前課題の回答	事後課題の回答
平均	3.360	3.907
標準偏差	0.938	0.850

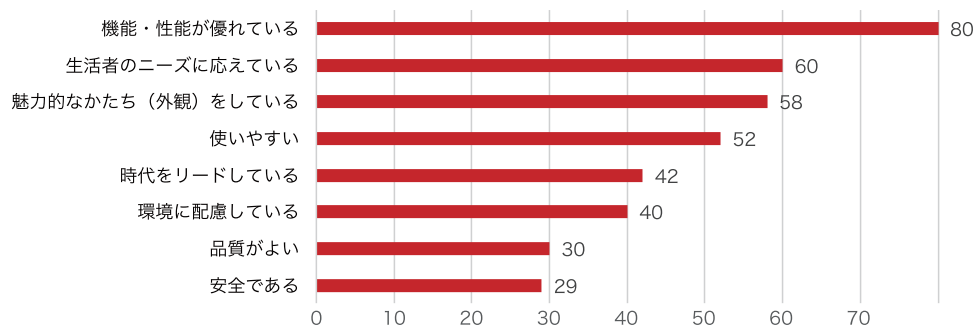
Q. あなたは「グッドデザイン賞」が社会的な価値や影響力を持っていると思いますか？

※「全く思わない」から「非常にそう思う」までの5段階評価

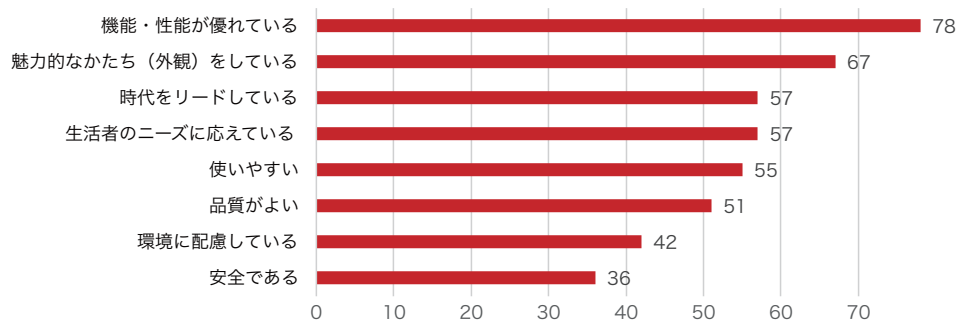
	事前課題の回答	事後課題の回答
平均	4.360	4.526
標準偏差	0.628	0.594

Q. あなたにとって「G マーク（グッドデザイン賞）受賞デザイン」のイメージは以下のどれですか？（複数選択可）

事前課題の回答



事後課題の回答



Q. 「グッドデザイン賞」や「G マーク」は今後さらに社会的に重要になると思いますか？

※「全くそう思わない」から「非常にそう思う」までの 5 段階評価

	事前課題の回答	事後課題の回答
平均	4.420	4.412
標準偏差	0.666	0.714

Q. あなたにとっての「グッドデザイン」の条件は何ですか？キーワードを最大 5 つまで書いてください。(n=98)

頻出語（上位 5 位 / 正規化前）

事前課題の回答		事後課題の回答	
キーワード	出現回数	キーワード	出現回数
機能性	15	機能性	14
使いやすい	11	使いやすさ	11
使いやすさ	9	新規性	11
美しさ	7	社会性	6
新規性	7	美しさ	6

カテゴリ集計 ※カテゴリ集計例：例 1「感性」カテゴリには「美しい」「造形美」「ワクワク」などのキーワードを含み、例 2「ユーザー視点」カテゴリには「使いやすい」「分かりやすい」「直感的」などのキーワードを含みます。

	価値・共感	革新性	感性	機能・合理性	社会・環境	ユーザー視点
事前課題の回答	53	46	73	57	55	59
事後課題の回答	64	63	64	58	57	56

Wilcoxon の符号付順位検定 検定統計量 a

	post_ 価値・共感 - pre_ 価値・共感	post_ 革新性 - pre_ 革新性	post_ 感性 - pre_ 感性	post_ 機能・合理性 - pre_ 機能・合理性	post_ 社会・環境 - pre_ 社会・環境	post_ ユーザー視点 - pre_ ユーザー視点
Z	.000b	.000b	-1.823c	-.791c	-.977c	-.325d
漸近有意確率（両側）	1.000	1.000	0.068	0.429	0.329	0.745

a: Wilcoxon の符号付き順位検定；b: 負の順位の合計は、正の順位の合計に等しくなります；c: 正の順位に基づく；d: 負の順位に基づく

参加学生の「良いデザインの捉え方」を把握するため、事前・事後に「あなたにとっての「グッドデザイン」の条件は何ですか？」という自由記述形式の設問を実施し、回答文中のキーワードを抽出しました。さらにキーワードを意味的に近接する語を正規化した上で、複数のカテゴリに分類しました。各カテゴリの出現頻度をもとに、対応のあるサンプル (n=98) を対象として Wilcoxon の符号付順位検定を行い、補助的に対応のある t 検定も実施しました。

その結果、いずれのカテゴリにおいても事前・事後の回答で統計的に有意な差は認められませんでした。。一方で、順位和や Z 値の比較から、カテゴリ間で変化傾向の強さには差がみられ、「感性」では事後に増加する傾向が相対的に大きいことが確認されました。これは有意差には至らないものの、デザインを捉える際の関心が、情緒的・体験的側面へとわずかに移行している可能性を示唆する結果です。他のカテゴリにおいても、事後に正の順位が多くなる傾向は散見されましたが、その強さは限定的でした。

これらの結果は、プログラムを通じて参加者の「良いデザインの捉え方」が変化しなかったことを意味するものではありません。参加学生がデザイン系の学生であるため、参加前から一定水準のデザイン理解を有していたことを示唆しています。また、順位の分布や自由記述内容を総合的にみると、事後回答では「ユーザー」「共感」「体験」「感情」といった語が相対的に多く出現しており、デザインを単なる機能や新規性としてではなく、人との関係性や体験価値の観点から捉え直す傾向がみられました。

以上より、本プログラムは学生のデザインに関する認識を大きく転換させるというよりも、**既存の理解を前提としつつ、視点の幅や解釈の深度を拡張する役割を果たしていた**と考えられます。このような変化は、単一指標による量的差としては捉えにくいものの、自由記述や語の選択の変化を通じて確認できる点に、本プログラムの教育的意義があると考えられます。

グッドデザイン賞の公式メディア「.g Good Design Journal」では、2025 年度のインターンシッププログラムに参加した学生の皆さんに、「デザインに興味を持ったきっかけ」「よいデザインを生み出すにはどのような能力（姿勢）が必要か」「デザインに「できること」という問いを投げかけ、その回答の一部を記事としてご紹介しています。



学生たちは真摯に審査のサポートに取り組むと同時に、多くの応募作品に触れ、審査委員や他の学生との対話を通じて、多様な視点や考え方を学んでいます。こうした学生の姿を表現するため、グッドデザイン賞の審査を支える学生に焦点を当てた映像を制作しました。



2025 年度グッドデザイン賞 学生インターンシッププログラム記録映像
Student Internship Program Documentary







GOOD DESIGN
AWARD 2025



**GOOD DESIGN
AWARD**

www.g-mark.org

お問い合わせ

公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局 Email. supportstaff@g-mark.org 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー 5F